



調査する（左から）畑野、くぎまるの両氏ら＝18日、横浜市

神奈川県
神奈川
党

転落防止へ30駅調査

長津田駅など
点状ブロッック未整備

田園都市・東横線で
畑野比例候補ら

1日の平均乗降数が
12万人を超える東急田
園都市線の長津田駅
（横浜市）に視力障害
者の安全確保に有効な
「内方線付き点状ブロッ
ック」が整備されてい
ないことが18日、日本
共産党南関東ブロック
事務所と神奈川県委員
会の調査で明らかにな
りました。

調査は畑野君枝衆院
南関東比例候補、くぎ
まる進衆院神奈川8区
候補、白井正子横浜市

議ら10人が、東急東横
線と東急田園都市線の
30駅で実施。東横線の
大倉山駅（1日の平均
乗降数約5万1千人）、
東白楽駅（同1万2千
人）、田園都市線の鷺沼
駅（同5万8千人）でも
内方線付き点状ブロッ
クが設置されていない
ことが分かりました。

国土交通省と鉄道事
業者でつくる「ホーム
ドアの整備促進等に関
する検討会」は昨年8
月、「中間とりまとめ」
を発表。利用者1万人
以上の駅では、内方線
付き点状ブロッックの整
備などを可能な限り速
やかに実施するよう努
めるとしています。東
急電鉄は内方線付き点
状ブロッックを順次整備
し、2014年度中に
完了予定だとしていま
す。

調査を終えた畑野氏
は「内方線ブロッックの
設置は早急に実現させ
ていきたい。ホームド
アの設置にむけて各方
面へ働きかけていきたく
い」と語りました。

くぎまる氏は「障害
者の目線で駅の安全対
策を点検し、改善を求
める声を広げていきたく
い」と述べました。